

## 第172回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日 時 令和3年12月21日(火) 午後3時～午後4時50分  
場 所 503会議室  
出席者 6名  
峯岸正雄、高橋勝緒、高橋絹世、友國洋、松田廣行、渡辺康三  
傍聴者 なし  
事務局 主幹 加藤、中島

### 1 開会

- 会長あいさつ

### 2 議題

(1)第2次和光市環境基本計画【改訂版】実施状況評価について

「【たたき台】第2次和光市環境基本計画【改訂版】実施状況に対する評価」について確定させる。

#### 質問・意見等

- 1頁 1. 令和2年度 of 取組状況の8行目「各所できちんと実施され、」、3頁 最後の行「PDCAサイクルをきちんと回すことが必要不可欠」の「きちんと」は口語なので、「的確に」に修正。
- 2頁 9行目「職員研修の普及を引き続きお願いします。」を「職員研修の充実をお願いします」に修正。
- 3頁 4行目「つくります。“と明記されています。”とあるが、明記されているでは、評価になっていないのではないかと。  
→曖昧ではあるが、「～と明記されているから、本気で取組んでください」という趣旨に読み取れて、いい表現だと思う。  
→この箇所は、修正なし。
- 3頁 最後の締め「宜しくお願いします」はどうか。  
→(会長) トラスト制度も含めてしっかりと検討してください。宿題は沢山あるので、きちんと取組んで欲しいという意味。  
→会話の締めくくりの様なので、削除する。

#### (2)その他

- 「第3次和光市環境基本計画実行計画」についての報告  
令和3年12月20日(月)に令和3年度第1回和光市環境審議会が開催され、「第3次和光市環境基本計画実行計画」について了承された旨報告。  
→(委員) 峯岸会長は、環境審議会に出席されており、地球温暖化について議論された様だが、市はどの様な見解を出されてたか。

→ (会長) 昨年、環境審議会が和光市気候非常事態宣言の表明を市長に提言したが、その後の状況を確認したところ、引き続き協議していくという回答であった。

- 各団体の活動状況や予定について

- 【和光自然環境を守る会】

- 緊急事態宣言が発出されている間は活動を中止し、それ以外は会員のみで活動。イベント関係では、越戸川まつり及び夏休みジャブジャブ大会については中止した。身近な水辺の水質調査を実施。17年連続で実施している。北原小学校5年生を対象に越戸川総合学習を実施。埼玉県立和光南特別支援学校の初任者研修で、先生5名と川のゴミ拾いを実施。海洋プラスチックゴミキャンペーンに参加。

- 【NPO法人 和光・緑と湧き水の会】

- 富澤湧水や大坂ふれあいの森について取りまとめた「湧き水探検ワークブック」を作成。

- 和光樹林公園きずなプロジェクトに参加。第1どんぐりの森のクヌギ、コナラ、クリの幼樹を第2どんぐりの森に移植した。

- 第五小学校4年生を対象に、大坂ふれあいの森など白子地区で、自然観察会を行った。

- 新倉ふれあいの森で、カシノナガキクイムシが発見され、「かしながホイホイ」を使って補虫し、広がらないよう対策している。

- 【NPO法人 太陽光発電所ネットワーク埼玉】

- 午王山で和光高校の生徒と活動する予定だったが、雨のため中止した。

### 3 閉会